

地域版クラウドファンディング

岡山発!

あなたの寄付で
地域が変わる

割り勘で 夢をかなえよう!

岡山の社会課題を解決するプロジェクトを
選んで寄付で応援するプログラム。

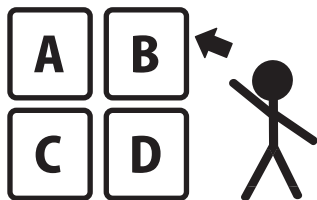


第5期

寄付募集期間

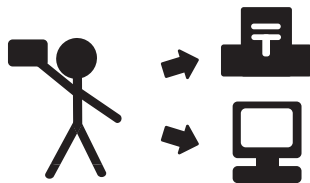
2014年1月29日(火) ~ 2月20日(金)

①



このカタログの中から応援したい取り組みを選んでください。

②



同封の郵便振替用紙でゆうちょ銀行にて寄付をお願いします。インターネットからも可能です。

③



賛同者から集まった寄付により助成を行い取り組みを実行します。実施後は成果を報告します。



公益財団法人

みんなでつくる財団おかやま

OKAYAMA Share Foundation

● 事業指定寄付プログラム「割り勘で夢をかなえよう」とは？

ご存知のとおり、今地域には様々な社会課題があります。子育てや福祉、環境やまちづくりなど、誰もが暮らしの中で、「もっとこうなればいいのに」「この困っている人をなんとかしてあげられないか」と思われることがあるのではないのでしょうか。そうした地域の課題、この岡山に起きている課題の解決を、みんなでお金を出し合って実現するのがこの「割り勘で夢をかなえよう」事業指定寄付プログラムです。様々な分野で課題解決に取り組む NPO や市民団体から募集したプロジェクトのアイディア（事業プラン）をこのカタログやインターネット上で公開し、賛同いただける方を募って寄付の形で参加をいただき、プロジェクト（夢）を実現させる仕組みです。地域で解決したい課題を、みんなでお金の形でお金を出し合い、解決するので「割り勘」と呼んでいます。

割り勘で実施されているプログラムは、みんなで作る財団おかやまの審査を通過した割り勘らしい内容となっています。カタログをご覧ください、プロジェクトの内容を読んでいただき、応援したい！と思うプロジェクトへ寄付での参加をご検討ください。

課題は遠くにだけあるのではなく、この地域、足もとにもあります。このカタログをご覧ください、寄付参加をいただくことが「なんとかしたい！」と行動するプロジェクトメンバーの意思と行動への大きな後押しとなります。ご参加をお待ちしております。

● 過去に募集したプログラムへご寄付をくださった方々の声（一部）

テレビや新聞でみて、既に知っている取組み（課題）であり、内容が分かるからこそ、自分も関われると思い、応援させてもらいました。特に被災地の母子やDV に関することなど自分が気になっていたことの活動が応援出来てよかったです。（60 代女性）

自分も関心があるけど、なかなか取り組みできていない、子どもの分野へ寄付をしました。事業結果も届くということで、自分もこの事業を支えるという実感があり楽しみにしています。（30 代男性）

● 割り勘事業に取り組んで変わったこと（過去の割り勘事例より）

「広域避難親子への心豊かな時間のプレゼント事業」（特定非営利活動法人 岡山市子どもセンター）

「東日本大震災の影響により岡山へ自主避難されて来ているご家族に少しでも夢や希望、そして、生きる力を持っていただきたい」という思いを込め、同団体が行っている生の舞台鑑賞会へ招待する事業を実施しました。割り勘事業に参加し、FACEBOOK 等の SNS や募金箱、イベントでの PR 活動を行うことで、今まで活動を伝えることができなかった層へ活動の内容を伝えることができました。その結果、割り勘事業を通じてこの取り組みを知ったレストラン経営者の方がレストランを交流会の場として提供してくださり、予定していた事業に追加するかたちで、自主避難されて来ているご家族、被災地支援を行っている大学生、実施団体の交流会を開催することができました。この交流会で避難者の生の声を聴くことができ、今後の支援に活かすことができる良い場となりました。また、事業終了後に割り勘事業で寄付をしてくださった方に寄付のご報告をしたところ、今後の活動も応援したいと2回目の寄付をいただくことができました。広く個人向けに活動を伝えることで世代・職種を問わず多くの方々へ活動の内容と意味を伝えることができ、その結果、継続して寄付をしてくださる方や資金面以外での支援をしてくださる方が増えた事例です。



● ご寄付の方法

寄付の手段は、下記 3 つの方法になります。



クレジット決済	モーションギャラリーのウェブサイト内から行っていただけます。 (http://motion-gallery.net/mintuku) 「モーションギャラリー みんなつく」でご検索ください。
郵便振替	本カタログに挟み込んでいるものをご使用いただくか、振替用紙がない場合は事務局及び申請団体へ連絡いただき、振替用紙を受け取ってください。または、直接、振込票に下記の情報をご記入ください。 【口座番号】 01310-3-103527 【加入者名】 みんなつく財団割り勘寄付口 【通信欄】 「メールアドレス」および「応援する事業名と金額」が分かるようにご記入ください。 例) atsushi@mintuku.jp すてっぷ 3 千円 だっぴ 3 千円
現金	説明会の会場やみんなつく財団事務所で受付しております。

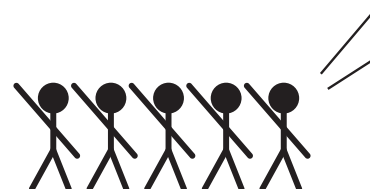
● ご寄付をいただいた後の流れ

- 1) ご寄付いただきましたら、入金確認後、電子メールにてお礼と受付確認の連絡をさせていただきます。
※モーションギャラリーご利用の場合、サイト内のメール機能にてご連絡いたします。
- 2) 募集期間終了後、助成金額が確定（1 か月程度見込み）したのち、領収書及び助成結果通知を送らせていただきます。
※領収書は、未発行の場合のみ発送させていただきます。
※モーションギャラリー経由（クレジット）の場合は領収書は発行されません。
- 3) 助成時に、各団体へ寄付者名簿をお渡しし、事業実施後、事業報告が各団体より行われます。
みんなでつくる財団おかやまのウェブサイトでも事業結果をご報告いたします。

● 過去のプロジェクト実施団体の声（お礼のメッセージ）

「割り勘で夢をかなえよう！」での資金集めは、お一人お一人の顔と想いがより近く感じる事が出来るので、普通の助成金とは全く違う感じがします。嬉しい気持ちと共に、こんなに多くの方に応援頂いているということが分かり、もの凄く気が引き締まります。多くの人に納得頂ける結果に繋がられるように、精一杯頑張ろうと思います。本当にありがとうございました。（第 1 期提案団体）

地域の課題解決や困っている人を助ける
チャレンジを一つずつでも増やしていくために、
あなたの寄付参加を心からお待ちしております。



「ひとりじゃないよ」 出版プロジェクト 目標額 350,000 円



11. 特別支援学級ってどんな学級?

特別支援学級って、結構どこの学校にあるのかわからないよ。でも、どういふ学級なのか案外みなさん知ってるよ。実際のところ、どうなんですか。

支援学級ってイコール知的障がい学級のことか。聞いたことあるよ。「自閉症・情緒障がい学級」というのもあるよ。

はい。特別支援学級は障がいの種類によって分けてあるのですが、倉敷市内には「知的障がい」「情緒障がい」「難聴」の3種類の学級があるのよ。老松小学校だけなのよ。が「知的障がい」と「自閉症・情緒障がい」は、学校によって分けて3～4クラス設置されているよ。

「自閉症・情緒障がい学級」(いわゆる情緒クラス)のお子さんは、知的障がいがないんですか?

以前は知的障がいのあるお子さんでも「自閉症・情緒障がい学級」に在籍している方がいましたが、現在は知的障がいの有無で「知的障がい学級」と分かれています。

支援学級に在籍すると、通常の学級の授業を受けることができません。

発達障害をもつ子どもの育児について不安感・負担感を感じている保護者をサポートする「障がい児子育てハンドブック第2号」を出版します！

発達障害などで支援を必要としている子どもは10人に1人以上

現在、倉敷市では小学校入学時点で「特別支援教育の対象」となる子どもは全体の11.4%であり、約10人に1人は支援の対象となっています。支援を必要としている児童の数は、この20年間で2.1倍に急増しています。それに伴って、障がい児の育児について不安感・負担感を感じている保護者が増加しており、倉敷市だけでも2,500名以上います。

現在、自閉症や発達障害の療育サービスは、「取り上げ療育」が主流です。これは、保護者が事業所に子どもを送っていき預けて、療育が終わるころにまた迎えに行くというものです。療育を提供する事業所は増えており、保護者の選択肢は昔よりもずっと広がっています。しかし、事業所と保護者は個々につながっている状態であり、保護者同士がつながりにくい構図となっているのが現状です。その結果、障がい児の保護者同士が出会う「横のつながりの場」が少ないため保護者が孤立しやすく、ちょっとした悩みごとでも相談することができず抱え込んでしまっている方が多くいます。また、障がい児の先輩保護者と若い保護者とが出会いながら「縦のつながりの場」も不足しており、育児の知恵や工夫、障がい児を育てていくために必要な様々な情報が次世代に伝

わらないため、自分の子育てについての先が見えず、不安感・負担感を感じている保護者がとても多くいます。

子どもの養育者が精神的に不安定であったり、子どもの現実の姿について受容できていないと、子どもの育ちに悪影響が及び、二次障害へとつながる可能性を増大させてしまいます。しかし、現在ではこのように悩んでいる障がい児の保護者への支援は少なく、また、必要だと考える人も少ない状況となっています。

障がいのある子とその親が共に幸せになれる街を倉敷で実現したい

私たち「ペアレント・サポートすてっぷ」のスタッフは「倉敷市障害児学級親の会」で過去に役員経験のあるメンバーで構成されています。私たちが目指す状態は次の4つです。

- ①障がい児の親たちが、障がい児の子育てに絶望せず、「困難は多いけれどもなんとかやっていけるかもしれない」という実感を持てるようにすること。
- ②障がい児がいても、「倉敷に住んでいれば安心だ」と思ってもらえるような街にすること。
- ③障がい児の親の心のケアをすることにより、障がいのある子どもを受容することを促し、それによって障がいのある子どもたちが自己肯定感を持って健やかに育って行けるようにすること。
- ④法人の活動

を広く周知することにより、障がい児とその保護者を理解・応援しようという気持ちが多くの人に広まっていくこと。

目指す姿を実現させるために、様々な年齢・立場の親や関係者が集まって自由に話すことができる「うさぎ茶屋」の開催や講演会などにて障がい児の保護者による保護者支援を行っています。

障がい児子育てハンドブック第1号は、 今までに 2,300 部以上お届けできました！

毎年のように日本の各地で聞く、孤独死、虐待死。保護者を一人にしてちゃいけない。人と人とが繋がりを持ちにくくなっている現代だけど、なんとか手と手を繋ぐ手伝いができないだろうか。私たちがたどってきた保護者のたどる道筋をこれから通る人たちのために少しでもなだらかにできないだろうか。情報不足による不安感の増大を防ぐために障がい児の育児に必要な情報を集約した子育てハンドブック「ひとりじゃないよ」(第1号：小学生卒業までを主な対象世代)を平成25年に制作し、今までに2,300部以上を届けることができました。

「中学校期」を対象とした 続編となる第2号を制作します！

ハンドブックの主要コンセプトは、子供の成長過程に沿った情報の提供です。第1号では子どもの誕生から小学校卒業時点までを対象とし、それぞれの成長段階で関わる行政機関やサービスについての情報を提供することを主な内容としています。今回のプロジェクトで「中学校期＜中学時代の教育の選択＞(中学入学前から中学卒業後の進路選択まで)」を対象とした第2号を制作します。是非、プロジェクトをご支援ください！

【 第2号のコンテンツ 】

1. 中学卒業後の進路について
2. 障がい児の保護者の(子どもの)障がい受容とそれに至る過程について
3. 思春期の発達障がいのある本人への障がい告知について
4. 障がいのある子を連れて安心して受診できる医療機関、障がいのある子を連れて楽しめるレジャー先などのランキング
5. お母さんたちの知恵袋 (※内容は変更になる場合があります)

第1号にて、障がい児の保護者へのアンケートをもとにした「障がいのある子を連れて安心して受診できる医療機関ランキング」、「障がいのある子を連れて楽しめるレジャー先ランキング」はとても好評でした。第2号では、約560名の保護者が新たに回答したアンケートをもとに、施設情報の更新を行い、新たに「お母さんたちの知恵袋」として、旅行、レジャー、医療機関受診、学校との付き合い方などエピソードや各自の工夫を紹介します。

【 すでに発行した1号を購入した人の感想 】

- ・医療機関の情報はとても役に立ちました。注射の時など、パニックになりいつも受診が気重かったです。
- ・すごく役に立つハンドブックですね、特に保護者のおすすめのアンケートがいいですね。こういう情報がありがたいです。
- ・旅行、アミューズメントパーク、新幹線や飛行機などでの悩みや過ごし方なども書いてくれたらいいなあと思いました。

【 ご寄付のプランと特典 】

寄付プランごとの特典は下記の通りです。

- 1) 1,000 円 「ハンドブック2号1冊」
- 2) 3,000 円 「ハンドブック2号1冊 + 講演会へのご招待」
- 3) 5,000 円 「ハンドブック2号2冊 + 講演会へのご招待2名」
- 4) 5,000 円 「ハンドブック2号1冊 + 講演会へのご招待 + すてっぷ絵はがき」
- 5) 10,000 円 「ハンドブック1・2号各1冊 + 講演会へのご招待 + すてっぷ絵はがき」
- 6) 10,000 円 「ハンドブック2号1冊 + 代表による制作に関わるお話し会」
(出張もします。要交通費負担)

【 寄付金の使途について 】

- ①ハンドブック印刷代
- ②イラストレーター業務委託費

【 プロジェクト実施団体 】

NPO法人ペアレント・サポートすてっぷ

■活動内容 : 障がい児の保護者に対して、相談支援事業(ピアサポート)等を行い、保護者の精神的サポートを行っている

■代表者 : 理事長 安藤 希代子

■設立年月日 : 2012年4月1日

■ホームページ : <http://parent-support-step.jimdo.com/>

実施団体の詳細な情報はおかやまシェア・ウェブをご覧ください。

<http://okayama-share.jp/cgi/web/?c=npo-2&pk=16>





フリーペーパーの定期発刊により若者が広い視野で主体的積極的に進路選択ができるようにする「だっぴ」のファン層の拡大をおこないます！

若者の7割以上が社会に貢献したい でも、どうすればいいかわからない状態

「若者の意識に関する調査 2013」（厚生労働省）によると、「仕事や学業をしっかりとやることで社会に貢献したい」「社会的起業・ボランティアなどに参画して直接社会を良くしていきたい」「寄付やチャリティーなどを通じて社会に貢献していきたい」と回答した若者は 71.1%おり、若者が社会貢献へ強い関心を持っていることがわかります。しかし、そのうちの4割は「(社会貢献を)考えているが、具体的にどのようにすべきかわからない」と回答しており、自分の思いと行動の間にギャップが発生していることがわかります。

若者が魅力的な大人と出会い、主体的に自分たちと地域の未来を考える機会がない

社会、もちろん岡山にも、地域で生き、地域を作り、文化を継承してきたような魅力的な大人が多くいます。その人たちは、様々な苦難を乗り越え、自身の価値観を形成し、地に足をつけて社会を作ってきた「先駆者」といえる魅力的な大人たちです。しかし、多様な働き方や人生観の大人に大学生や高校生などの若者が実際に出会い、未来を考えるきっかけになる機会はほとんど

ありません。若者と地域との交流を図るイベントや取組みは多数存在しますが、それらの多くは社会の大人側が自分たちの視点でつくるものが多く、若者が主体となって自分たちと地域の未来を考える場にはなっていないのが現状です。

若者が広い視野で主体的積極的に 進路選択ができるようにしたい

もし、このような魅力的な大人と地域の未来を担う若者が顔を見ながら交流する機会や場が当たり前で地域社会にあるとしたら……。私たちは、このような場を地域に当たり前にするため、若者が中心となり「だっぴ」というトークセッションを開催しています。これにより参加者が自分なりの「魅力的な在り方」について考え、広い視野で主体的積極的に進路選択ができるようになることを目指しています。

だっぴには今までに大学生や高校生などの若者や、岡山の魅力的なゲストがのべ 682 名参加しています。これにより未来を担う若者が、魅力的に働く人やそういう人がいる職場と出会い、知る機会が増え、また、参加した大人同士の新たなつながりにより、それぞれの活動が広がっています。このように、出会いの機会がたくさん生まれる事で、地域の力が高まり、豊かな未来につながると私たちは考えています。

「だっぴの活動が社会的に認知されていない」 「参加するまでのハードルが高い」が今の課題

参加者や実行委員をはじめとする「若者の意識の変化」やゲストの社会人の方の「未来が明るく思えたという反応」から、この事業を継続して行うことで参加者が自分なりの「魅力的な在り方」について考え、広い視野で主体的積極的に進路選択できる社会に近づくことができると実感しています。

しかし、「だっぴの活動が社会的に認知されていない」「だっぴに参加するまでのハードルが高い」という課題を抱えており、現在では活動的な若者が参加する限定的なものとなっており、だっぴに参加して欲しい「悩んでいる若者」に参加してもらうことができていない状況です。

フリーペーパーの定期発行により ファン層を拡大する

今回のプロジェクトでは、平成 26 年度から不定期でテスト発行をしていたフリーペーパー「knock mook DAPPI」の定期発行の実現に取り組みます。また、だっぴのパンフレットを合わせて制作し、団体のめざす社会や活動概要を正しく伝えることができるツールを整備します。フリーペーパーは「1歩ふみだせる紙」をコンセプトに、だっぴで生まれた物語やここに沁みた言葉、最近の活動や募集などを2ヶ月に1回発行いたします。

【 knock mook DAPPI のコンテンツ 】

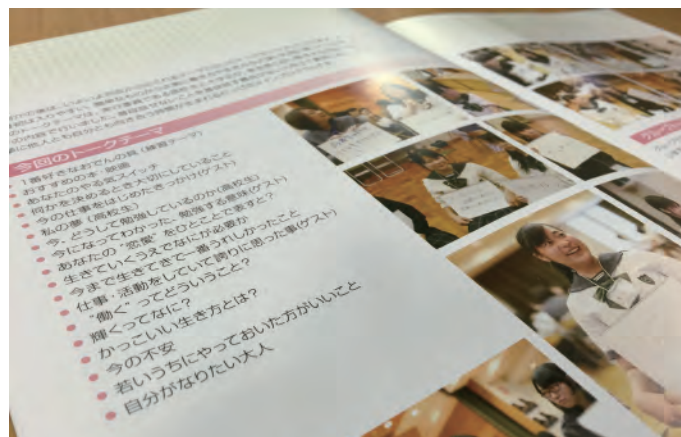
だっぴ紹介、最近の活動、インタビュー（ゲスト、参加者）、1歩なひとこと、実行委員コラム、各募集・案内、ステキイベントセクション（だっぴ的おすすめイベント）など

配布対象：わかもの（高校生～若手社会人）、支援者、一般県民

配布方法：県内各所への設置、郵送

定期発行：2ヶ月に1回

本プロジェクトにて、社会的認知度を上げ、だっぴへの参加を容易にすることで、より若者が広い視野で主体的積極的に進路選択ができるようにしていきたいと考えています。是非私たちの活動をご支援ください。よろしくお願いします。



だっぴでは、8～10 人程度のグループになり上記のようなテーマでフリートークを行います。

【 ご寄付のプランと特典 】

寄付プランごとの特典は下記の通りです。

- 1) 1,000 円：フリーペーパー + パンフレット
- 2) 3,000 円：1 年分のフリーペーパー + パンフレット
(発送は複数号まとめさせていただきます)
- 3) 5,000 円：1 年分のフリーペーパー + パンフレット +
高校だっぴの報告書
- 4) 10,000 円：1 年分のフリーペーパー + パンフレット +
高校だっぴの報告書 + だっぴ懇親会へご招待（会費別）

【 寄付金の使途について 】

- ①フリーペーパー制作費
(フリーペーパーの定期発行 年 6 回発行)
- ②パンフレット制作費
(デザイン料、印刷代等 2000 部 (16P、フルカラー))

【 プロジェクト実施団体 】

NPO法人だっぴ

■活動内容：自分の生き方について考える若者と既に岡山で自分の在り方を見つけて 魅力的に生きている人との出会いの場の創造

■代表者：代表理事 柏原 拓史

■設立年月日：2013 年 10 月 21 日

■ホームページ：<http://dappi-okayama.com/>

実施団体の詳細な情報はおかやまシェア・ウェブをご覧ください。

<http://okayama-share.jp/cgi/web/index.cgi?c=npo-2&pk=70>



Q&A 事業指定寄付に関するQ & A

1. 事業指定寄付とは？

事業実現を応援するための資金提供になります。融資や投資ではありませんので、金銭的な見返りはありませんが、応援する事業によっては、事業成果物などを提供させていただきます。また、事業の所有権は提案者にあります。資金提供者は事業実施の応援者となります。

3. 目標金額に達さなかった場合はどうなりますか？

集まった金額で助成（資金提供）を行います（当法人の運営経費5%+システム利用料を差し引いた額）。提案事業の目的に沿ったものを、事業規模の縮小もしくは他の資金を充当することにより実施できるものを選定しております。詳しくはウェブサイトの募集要項をご覧ください。

5. 目標金額はどのようにして決まっていますか？

事業提案者の申請額に、当法人の運営手数料（助成額の5%+システム利用時はシステム利用料）を加えたものになっています。

お問い合わせ先



公益財団法人

みんなでつくる財団おかやま

OKAYAMA Share Foundation

〒700-0807

岡山市北区南方2丁目13-1

きらめきプラザ2階

TEL 086-206-2195

FAX 086-899-6329

E-mail info@mintuku.jp

URL <http://mintuku.jp/>

【受付時間】 祝日を除く

月曜日～金曜日 10:00～17:00

2. 領収書の発行はどうなりますか？

現金及び郵便振替でご寄付いただいた場合は、現金受取時もしくは受付期間終了後に当法人より領収書を発行させていただきます。motion gallery（モーションギャラリー）のサイトより手続きいただいた場合は、原則として領収書の発行は致しませんので、振込記録やクレジット決済の記録を保管ください。

4. 逆に、期間内に目標金額を超えたらどうなりますか？

目標額を超えて集まった金額も含め、助成し、提案事業の発展に活用していただきます。

詳しくはウェブサイトの募集要項をご覧ください。

6. 「みんなでつくる財団おかやま」ってどんな財団ですか？

岡山県内の約100名の若者による“呼びかけ人”が中心となり、広く市民に基本財産の寄付を呼び掛け、530名より集まった4,133,000円を基本財産として設立された財団法人です。

地域に、既に取り組みをしている人、したい人はたくさんいます。その人たちの勇気（活動）をみんなで応援し、未来の希望に変えていきたい。そのために、地域の持っているポテンシャル（人・モノ・お金・情報などの資源）を「つなぎ、つたえ、シェア」していくことが重要だと考えています。関わりやすい環境をつくり、参加者を増やし、みんなが地域の当事者になり、社会を変えていく。

社会を変えるということ。それは自分の環境を自分の望む形にデザインすること。「つなぐ、つたえる、シェアをする」を実践し、地域のあらゆる主体が公益を担い合う社会。当事者の意識と存在を大切にしたい、安心して持続可能な地域社会の実現を目指して、活動していきます。